

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	Fuze F1
製品コード	なし
供給者の会社名	株式会社ハイマンインターナショナル
住所	広島県福山市西町一丁目1-1 (tovio 内)
電話番号	084-999-4747
電子メールアドレス	sds@fuze47.jp
緊急連絡電話番号	084-999-4747
推奨用途及び使用上の制限	抗菌・防カビ剤 (噴霧・塗布により使用)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:	非危険物質
物理化学的危険性:	非該当
健康に対する有害性:	非該当
環境に対する有害性:	非該当
GHS ラベル要素:	絵表示 (ピクトグラム) 該当なし
	注意喚起語 なし
	危険有害性情報 なし

注意書き:

安全対策:	換気の良いところで使用し、吸引しないこと
応急措置:	異常のある場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事

GHS 分類に該当しない他の危険有害性: なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物
化学名又は一般名:	純水と金ナノ粒子・銀ナノ粒子の混合物 (疎水コロイド)

組織物質名	CAS 登録番号	化管法指定化学物質の種類	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
水 (純水)	7732-18-5	非該当	既存化学物質	非該当	99.995%
銀	7440-22-4	*第一種 83 番	既存化学物質	*別表 9-10	最大 48ppm
金	7440-57-5	非該当	既存化学物質	非該当	最大 2ppm

*化管法指定化学物質の種類、銀: 管理番号 82、銀及びその水溶性化合物

*安衛法官報、公示整理番号、銀: 別表第 9-10、銀及びその水溶性化合物

4. 応急措置

吸入した場合：

異常のある場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。溺水の危険性もある事から、直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

影響は懸念されないが、皮膚に異常のある場合はぬるい穏やかな流水で5分間洗い流すこと。異常が継続する場合は医師に連絡すること。

眼に入った場合：

影響は懸念されないが、眼に異常のある場合はぬるい穏やかな流水で5～15分間洗い流すこと。異常が継続する場合は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：

飲用に有害な物質が含まれない事から影響は懸念されないが、異常のある場合は医師に連絡する事。

5. 火災時の措置：火災・爆発の危険性は無い

適切な消火剤：周辺火災状況に適した、水・二酸化炭素・乾燥消火剤・泡状消火剤等

使ってはならない消火剤： なし

火災時の特有の危険有害性： なし

特有の消火方法： なし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： なし

6. 漏出時の措置

清掃手続：

安全上問題がなく可能であれば漏出を止める措置を講じ、8を参照の上注意して清掃の上、吸水資材等の廃棄物は規制に従って処分する事。

環境に対する注意事項：

金属銀は、直ちに生態学的リスクを引き起こすとは考えられていない。但し、銀の保管と使用には常に適切な管理慣行を適用する必要がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

吸水性のある資材を使用して、水や土壌への製品の偶発的な放出を防止する事。

流出を隔離するための材料： 吸水性素材等

二次災害の防止策： 不要

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い・技術的対策：製品を汚染する物質から避け、衛生に配慮して扱い、取扱場所での飲食・喫煙はしない事。

衛生対策：取扱い後は適切な場所での飲食・喫煙の前に手をしっかり洗う事。

保管：施錠可能な屋内で、常温（20～50℃）で保管し、冷蔵・冷凍しない事。

安全な容器包装材料：水に適したものであれば特別な容器は必要ないが、製品容器の保管が品質維持上必要である。

8. ばく露防止及び保護措置

換気：室内・閉鎖空間での作業には、適切な局所換気または全体換気を行う事。

保護具：皮膚の直接接触を減らすため、手袋とつなぎ服等の作業服着用を推奨する。

呼吸用保護具：エアロゾルが発生し、推奨レベルを超える場合は、適切な防塵マスクを使用する事。

眼の保護具：エアロゾルが発生する場合は、適切な眼の保護具を着用のこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	薄黄色
臭い	なし
凝固点	約 0 度
沸点:	100°C
可燃性	なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	非該当
引火点	非該当
自然発火点	非該当
分解温度	非該当
pH	6.8～7.2
動粘性率	1.004 mm ² /s （但し、20°Cの純水の値として）
溶解度	非水溶性（水で希釈は可能）
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	非該当
蒸気圧	非該当
密度及び／又は相対密度	1.00
相対ガス密度	非該当
粒子特性	不定形 粒子径 約?? nm
その他データ	なし

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	強酸化剤
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	火災時に周辺環境からの有害物質が発生する可能性がある。火事の際の対応は5を参照の事。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	なし
急性毒性（経皮）	なし
急性毒性（吸入：気体）	なし
急性毒性（吸入：蒸気）	なし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	なし
皮膚腐食性／刺激性	なし
皮膚への影響	長期間接触によりシミが出来る事がある
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	なし
呼吸器感作性	なし
皮膚感作性	なし
生殖細胞変異原性	なし
発がん性	なし
生殖毒性	なし
生殖毒性・授乳影響	なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	なし
誤えん有害性	なし

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性（短期/急性）	なし
水生環境有害性（長期/慢性）	なし
残留性・分解性	非分解性
生態蓄積性	なし
土壤中の移動性	なし
オゾン層への有害性	なし



1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水分吸収剤等に吸収させに従って廃棄物として、法令・各自治体の規制に従って処分する事。水分を蒸発させ濃度を高めてから吸収させると効率的である。

汚染容器及び包装：法令・各自治体等の規制に従って処分する事。

1 4. 輸送上の注意： 特になし

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	2、5、6、7を参照の事
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	3を参照の事
毒物及び劇物取締法	対象外
労働基準法	2、5、6、7を参照の事
化審法	3を参照の事
消防法	対象外
大気汚染防止法	対象外
水質汚濁防止法	対象外
水道法	対象外
下水道法	対象外
海洋汚染防止法	対象外
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	1 3を参照の事

1 6. その他の情報

本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成した。